

令和8年9月16日

東淀川区西部地域バリアフリーまちづくり協議会

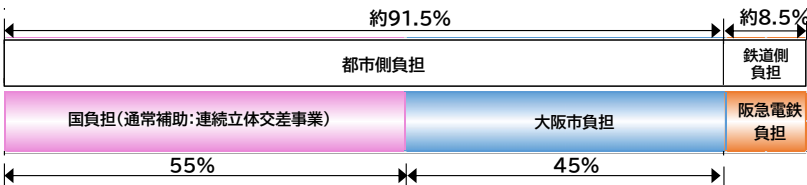
第63回まちづくり構想部会

【資料1】まちづくりに関する情報提供関連資料

阪急電鉄京都線・千里線連続立体交差事業 状況報告

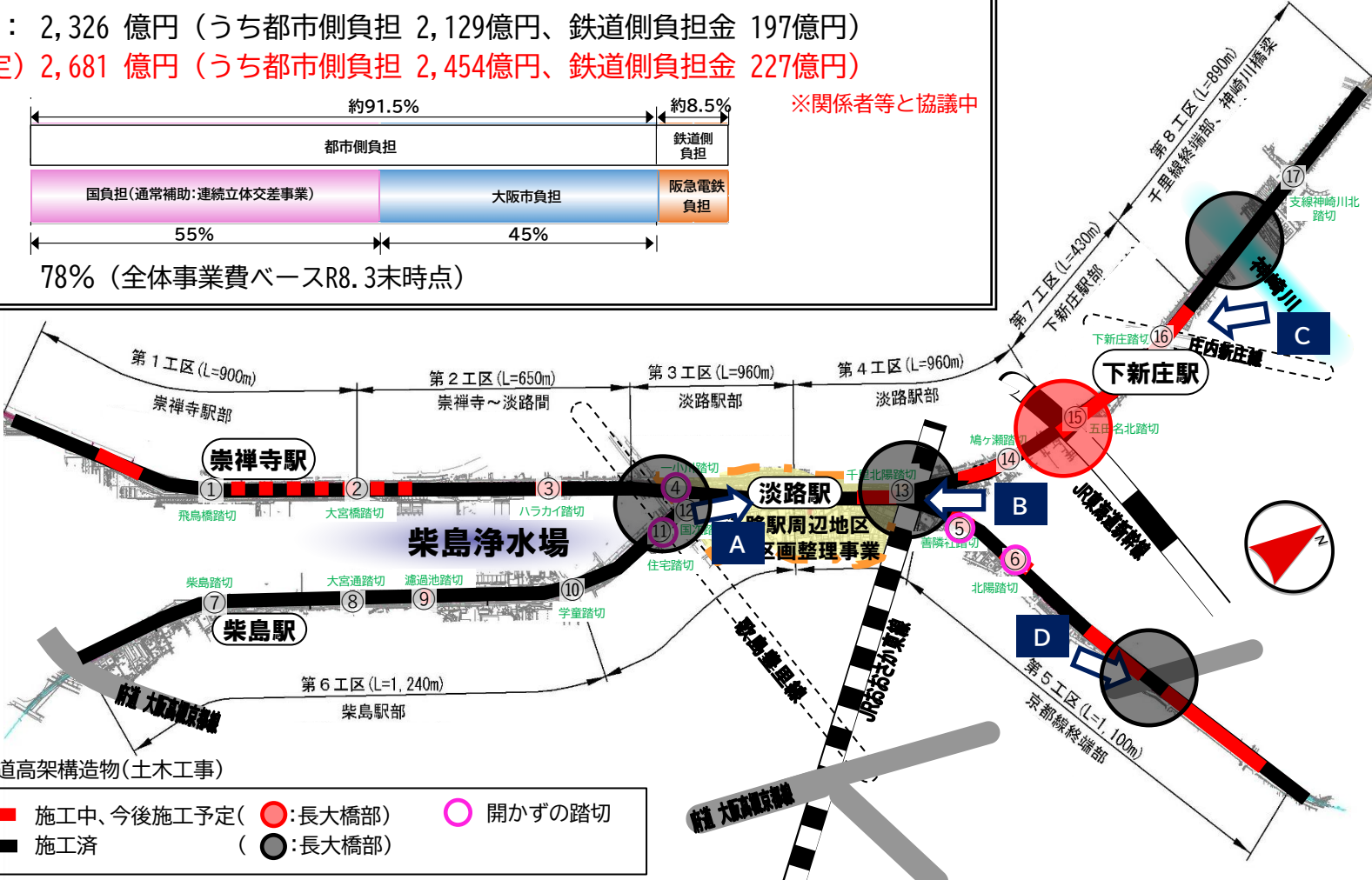
【事業概要】

事業期間：平成8年度～令和13年度予定（高架切替 令和10年度予定）
（変更予定）平成8年度～令和18年度予定（高架切替 令和15年度予定）※関係者等と協議中
延長：7.1km（阪急電鉄 京都線3.3km、千里線3.8km）
除却踏切：17箇所（開かずの踏切4箇所を含む）
事業費：2,326億円（うち都市側負担 2,129億円、鉄道側負担金 197億円）
（変更予定）2,681億円（うち都市側負担 2,454億円、鉄道側負担金 227億円）

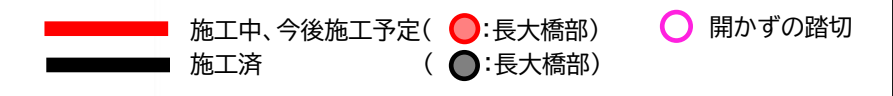


※関係者等と協議中

進捗率 78%（全体事業費ベースR8.3末時点）



【凡例】※鉄道高架構造物(土木工事)



A 淡路駅



B JRおおさか東線 交差部



C 下新庄駅付近



D 大阪高槻京都線 交差部（施工状況） R7.7.15



【事業費の増額】

- ・ 現計画 2,326億円に対し、約355億円増額となり、変更後の事業費は、約2,681億円となる見通しである。

(単位:億円)

項目	増額	増額理由
物価高騰	254	・ 令和2年から令和8年までの物価上昇による増額
地中障害物の発現	11	・ コンクリート基礎構造物の撤去等による増額
施工方法の見直し	18	・ 工事用地内でのタワークレーン及び仮設ステージの設置による増額
安全対策の強化等	51	・ 積算基準の改定による増額
	21	・ 現場の安全対策上の交通誘導員、作業指揮者、列車監視員等の増員等による増額
計	355	※関係者等と協議中

【事業期間の延伸】

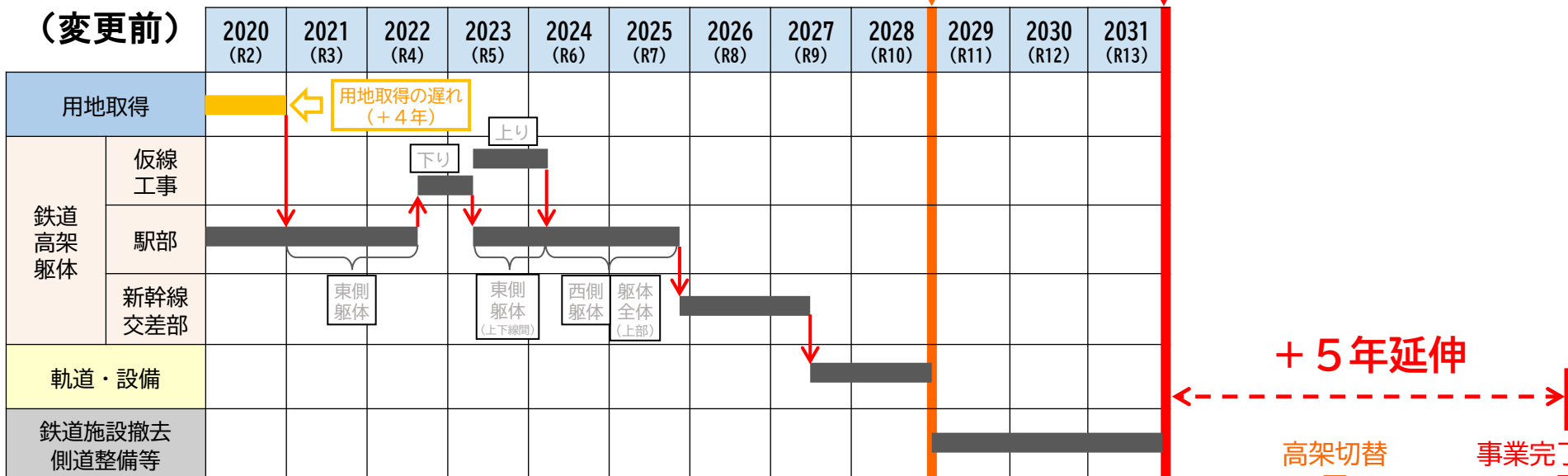
- ・ 現計画 令和13年度完了(高架切替:令和10年度)に対し、令和18年度完了(高架切替:令和15年度)となり、事業期間が約5年延伸となる見通しである。

項目	延伸	延伸理由
安全性を考慮した施工方法の見直し	34か月	・ 新幹線交差部の橋梁架設方法の見直し ・ 周辺道路の交通影響への配慮
働き方改革等による影響	20か月	・ 現場の稼働時間短縮による影響 - 週休2日(4週8閉所)を導入 - 猛暑日を考慮
追加工事の実施	6か月	・ 地中障害物の発現
計	5年 (60か月)	※関係者等と協議中

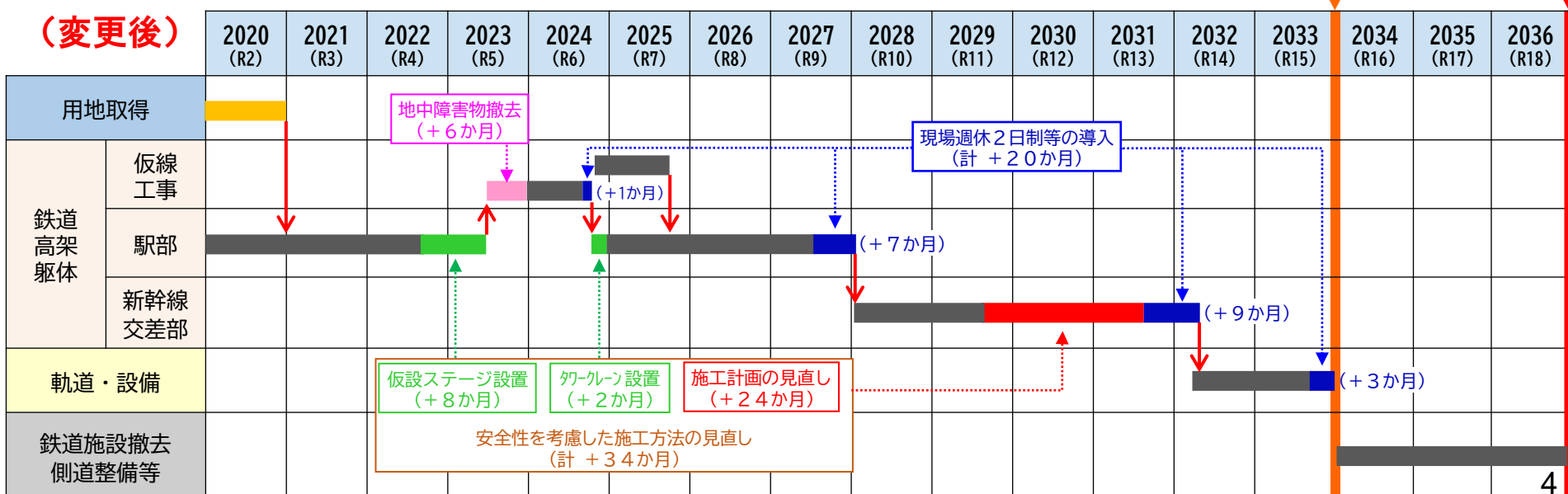
※鉄道事業者等の関係者協議により、増額内容等が変更となる可能性がある。
※連続立体交差事業に係る国庫補助事業(個別補助制度)の適用に関して、今後、国と協議していく。

【工事スケジュール（下新庄駅～新幹線交差部付近）】

（変更前）



（変更後）

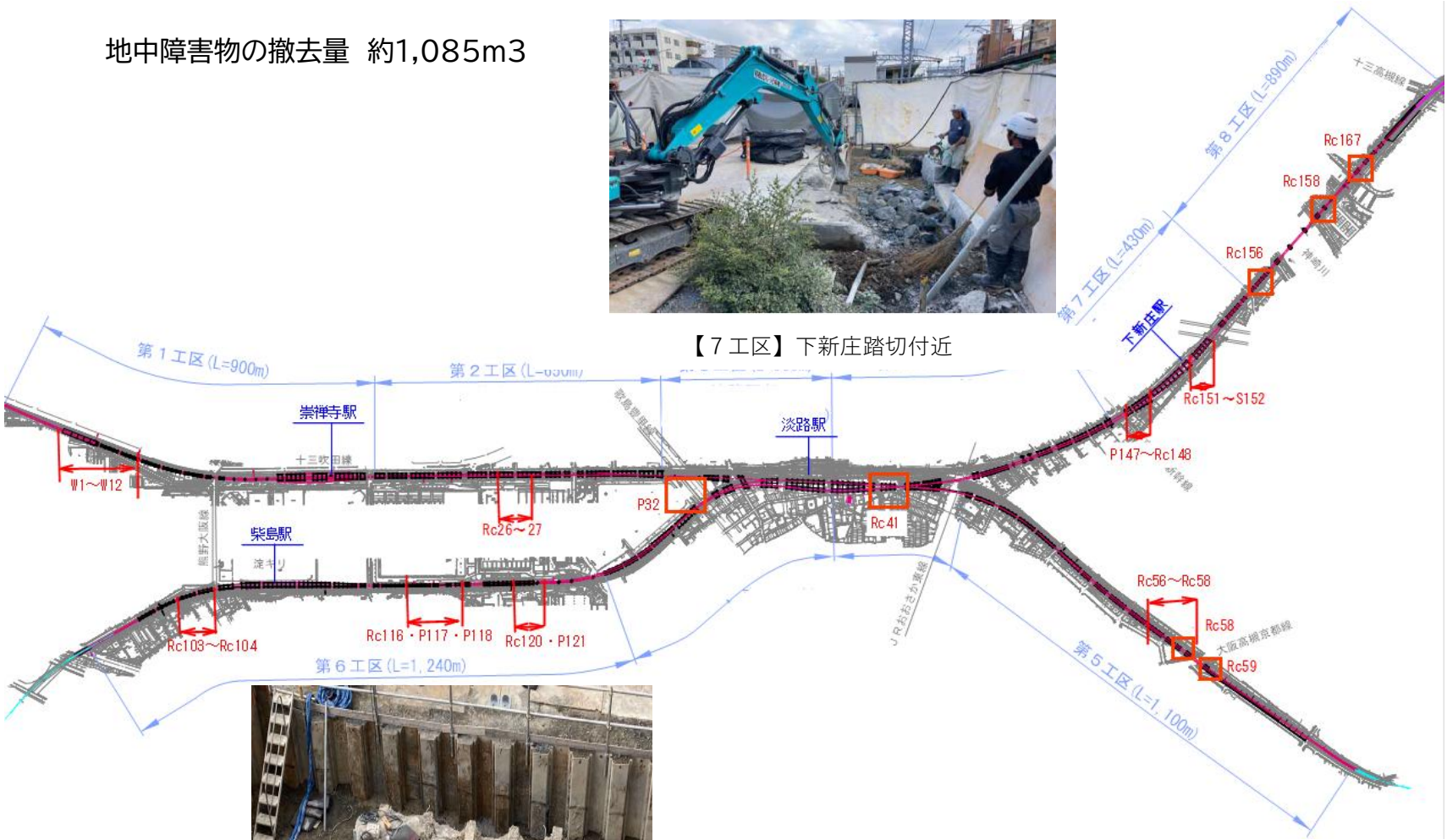


【地中障害物の撤去等（増額：+11億円／延伸期間：+6か月）】

地中障害物の撤去量 約1,085m³



【7工区】下新庄踏切付近



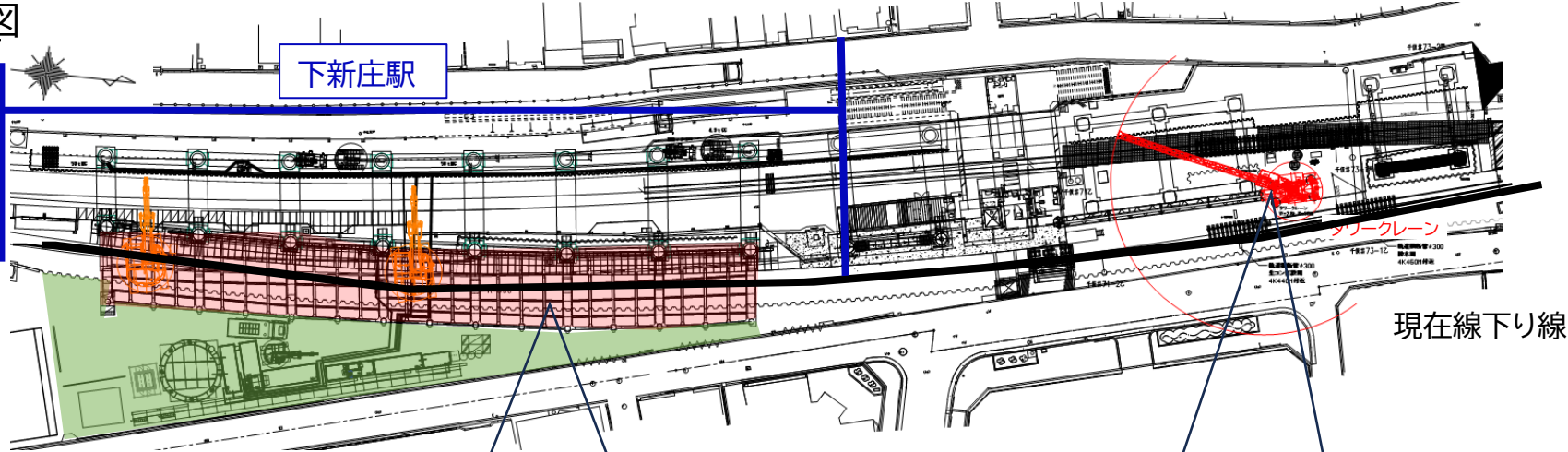
【6工区】浄水場付近

赤色箇所:地中障害物の撤去箇所

【周辺道路の交通影響への配慮（増額：+18億円／延伸期間：+10か月）】

■ : 施工ヤード

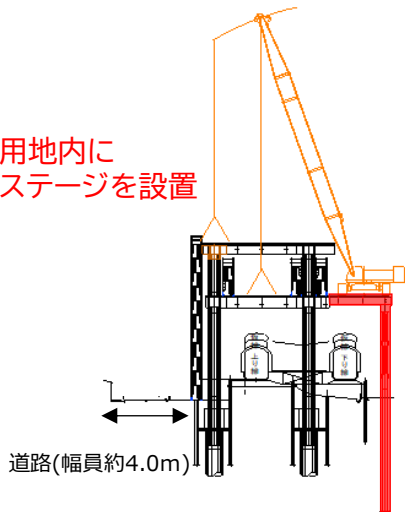
平面図



断面図

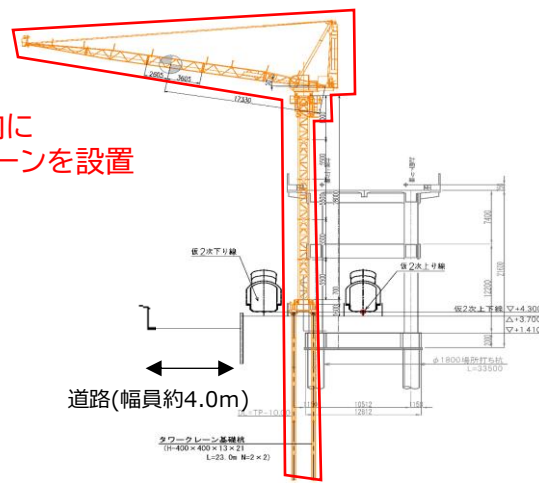
□ 道路の車両通行止めは行わない施工方法へ

工事用地内に
仮設ステージを設置



□ 道路の車両通行止めは行わない施工方法へ

工事用地内に
タワークレーンを設置

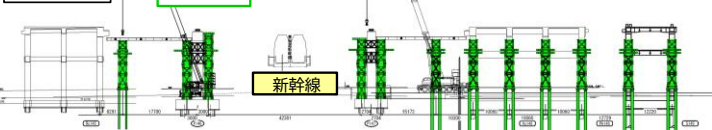


【新幹線交差部の橋梁架設方法の見直し（延伸期間：+24か月）】

新幹線交差部 橋梁架設

STEP①

ベント組立
(10か月)



他工区の実績と比較して、
・ベント量が多い
・作業ヤードが狭隘
+8か月

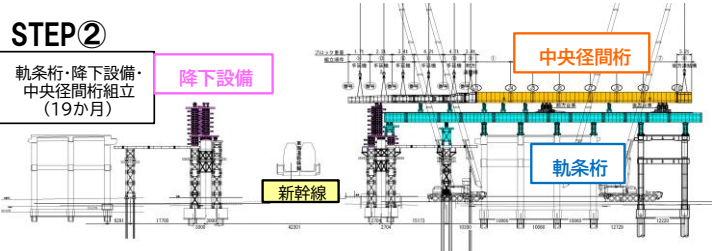
STEP②

軌条桁・降下設備・
中央径間桁組立
(19か月)

降下設備

中央径間桁

軌条桁

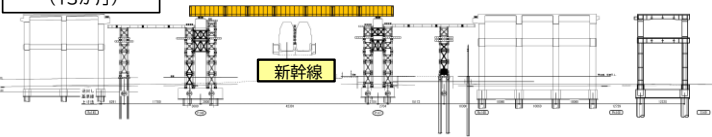


他工区の実績と比較して、
・作業ヤードが狭隘
+6か月

STEP③

中央径間送出し・
降下、軌条桁解体
(13か月)

中央径間桁



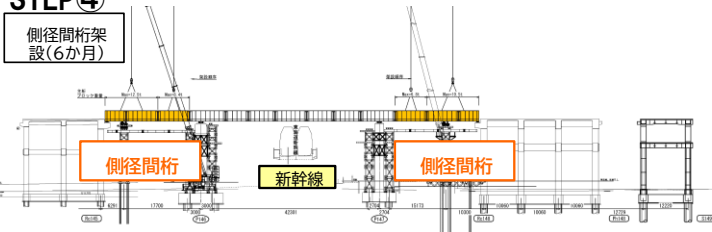
他工区の実績と比較して、
・降下量が大さい
・作業ヤードが狭隘
+4か月

STEP④

側径間桁架
設(6か月)

側径間桁

側径間桁



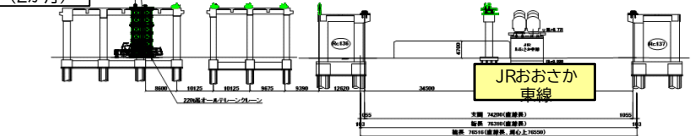
他工区の実績と比較して、
・側径間架設が別途必要
+6か月

(参考) JRおおさか東線交差部 橋梁架設

STEP①

ベント組立
(2か月)

ベント



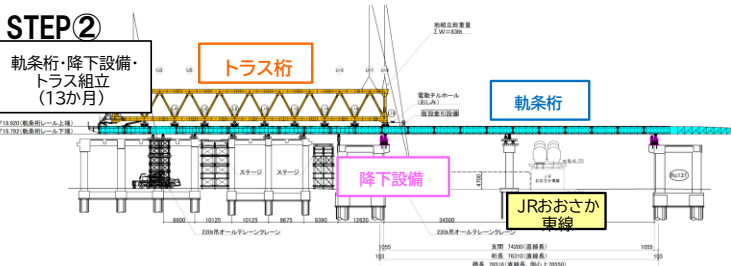
STEP②

軌条桁・降下設備・
トラス組立
(13か月)

トラス桁

軌条桁

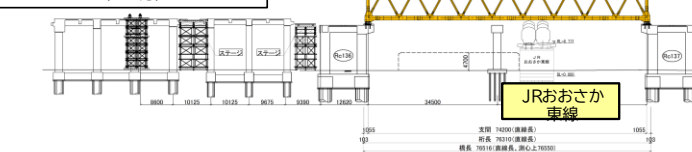
降下設備



STEP③

トラス桁送出し・降下、軌条桁解体
(9か月)

トラス桁



ベント : 桁架設工事に必要となるステージ(構台)の支柱
軌条桁 : 桁を送り出すための台座となる桁
降下設備 : 桁を所定の位置に送り出した後に、高さ調整材として設置した仮受台

【高架下空間の有効活用】

- 事業期間の延伸も見込まれるが、鉄道高架構造物の整備も進捗している。
- 淡路駅周辺では、放置自転車等の地域課題を抱えており、完成した鉄道高架構造物の高架下空間に、暫定駐輪場の設置を検討している。
- 淡路駅周辺地域以外についても、地元ニーズを踏まえながら、高架下活用の有効活用を順次進めていく。

